



音読の代わりに朗読CDを聞く



窓を開け教室を換気



体育の授業は間隔を空けて行う



こまめに手指を消毒



臨時休校の影響で不足した授業時間を確保するため、各学校の夏休みを短縮します。熱中症を防ぐための暑さ対策

授業時間の確保のため夏休みを短縮します

臨時休校の影響で不足した授業時間を確保するため、各学校の夏休みを短縮します。熱中症を防ぐための暑さ対策

市は、新型コロナウイルス感染症の影響で約3か月にわたり臨時休校となっていた、市立の小中学校と特別支援学校、高崎経済大学附属高等学校を、県の指導方針に準じて6月1日に再開しました。再開後、学校では最大限の注意を払い、感染予防のためのさまざまな対策を行っています。児童生徒全員の検温や健康チェック、教職員による校内の消毒作業などを実施。間隔を広く空けて机を配置したり、音楽の歌唱指導や家庭科の調理実習などは控えたりもしています。子どもたちが安心して学校生活を送れるよう取り組んでいます。

今後、児童生徒、教職員に1人でも感染者が出た場合は、学校全体を休校します。

発熱などの症状がある人や感染拡大防止のために登校を控える場合は、欠席扱いにしません。

市の新型コロナ対策特設サイト



詳しくは、同センター（☎329・7111）か各学校へ問い合わせてください。

市教育センターでは、電話や来所で、学校生活などに関する相談を受け付けています。各学校には、スクールカウンセラーが定期的に訪問し、相談を行っている他、必要に応じて市からスクールソーシャルワーカーを派遣

「朝起きるのがつらい」「勉強についていけないか不安だ」など、学校生活で心配ごとや悩みごとがあったら、気軽に相談してください。

市教育センターでは、電話や来所で、学校生活などに関する相談を受け付けています。各学校には、スクールカウンセラーが定期的に訪問し、相談を行っている他、必要に応じて市からスクールソーシャルワーカーを派遣

「朝起きるのがつらい」「勉強についていけないか不安だ」など、学校生活で心配ごとや悩みごとがあったら、気軽に相談してください。

市教育センターでは、電話や来所で、学校生活などに関する相談を受け付けています。各学校には、スクールカウンセラーが定期的に訪問し、相談を行っている他、必要に応じて市からスクールソーシャルワーカーを派遣

「朝起きるのがつらい」「勉強についていけないか不安だ」など、学校生活で心配ごとや悩みごとがあったら、気軽に相談してください。

市教育センターでは、電話や来所で、学校生活などに関する相談を受け付けています。各学校には、スクールカウンセラーが定期的に訪問し、相談を行っている他、必要に応じて市からスクールソーシャルワーカーを派遣

「朝起きるのがつらい」「勉強についていけないか不安だ」など、学校生活で心配ごとや悩みごとがあったら、気軽に相談してください。

市教育センターでは、電話や来所で、学校生活などに関する相談を受け付けています。各学校には、スクールカウンセラーが定期的に訪問し、相談を行っている他、必要に応じて市からスクールソーシャルワーカーを派遣

「朝起きるのがつらい」「勉強についていけないか不安だ」など、学校生活で心配ごとや悩みごとがあったら、気軽に相談してください。

感染防止策を徹底した学校の新しい生活様式

新型コロナウイルスから子どもを守る学校の取り組み

市は、6月1日から市立の小中学校と特別支援学校、高崎経済大学附属高等学校を、県の指導方針に準じて再開しています。今回号では、新型コロナウイルスから児童生徒を守る学校での取り組みや、学校生活の様子、授業時間を確保するための夏休みの短縮などについてお知らせします。

問い合わせは、学校教育課（☎321-1293）か健康教育課（☎321-1294）へ。





みんなで食べる給食で笑顔に



低学年クラスでは教職員が盛り付け



栄養士が栄養バランスを説明



小中学校の給食では、配膳時の感染リスクを減らすため、品数を減らして配膳しやすくしたり、教職員が盛り付けたりするなどの対応をしています。食べるときはこれまでのように机を向かい合わせにせず、全員が同じ方向で。栄養士は「一皿でもバランスよく食べられるよう献立を工夫しています。これからも、子どもたちに楽しんでもらえる、おいしい給食作りに努めていきます」と話します。

STEP 3

給食も感染予防に努めます 配膳方法や献立を工夫



給食前にも健康チェック



登校時に全員を検温

STEP 1

検温や健康チェックを実施 こまめな手洗いなどを指導



石けんでしっかり手洗い

登校時、校舎に入る前に児童生徒全員の検温を行います。間隔を空けて並べるよう地面にマークを付けるなど、子どもたちが密集状態にならないよう工夫。給食前にも、各クラスで検温や聞き取りを行い、子どもたちの体調を把握します。
子どもたちはマスクの着用や咳エチケット、こまめな手洗いなどの指導を受けて実践中です。手洗いの密集を防ぐため、休憩の時間をずらすなどしています。
今後も、状況に応じて各学校で柔軟に対応していきます。

富岡市長が授業の様子などを視察

富岡市長が小中学校を視察しました。群馬南中学校（三ツ寺町）では、教職員から説明を受けた後、特別教室や体育館で行われていた授業を見学。子どもたちから学校生活の感想などを聞きました。



◀ 中学校視察の様子を動画で見られます

INTERVIEW

学年主任の先生に聞きました



環境だけでなく 心のケアも

桜山小第4学年主任
くぼた 美夏さん

子どもたちが安心して学校生活を送れるように、教職員みんなで感染予防に取り組んでいます。休校が長かったこともあり、新しい生活になじめないこともあると思います。心のケアにも気を配りながら、子どもたちに寄り添っていきます。学校生活や学習での心配ごとがあれば、いつでも私たちに相談してください。

STEP 2

校舎を換気し、机の間隔を空けて配置 手すりなどを念入りに消毒します

窓や扉を開けて校舎を換気します。これからの季節は熱中症の危険性が高まるため、空調の温度設定に気を配るなど暑さ対策も行います。教室では机の配置を工夫。間隔をできるだけ広く空け、密集を避けます。

校内は念入りに消毒。子どもたちが触れる手すりや蛇口、ドアノブ、照明スイッチの他、黒板消しや共有する教材などを、教職員がこまめに消毒します。



消毒は念入りに



教室を目いっぱい使って配置